一般社団法人かわたな夢キッズ

令和６年度事業報告書

令和６年度 事業報告書

（令和６年７月１日から令和７年６月 30 日まで）

一般社団法人　かわたな夢キッズ

１）　事業の成果（概要）

一般社団法人かわたな夢キッズとして令和５年より居場所づくりプロジェクトを行い、令和６年６月７日にオープンした『自由楽校 ゆめまある』。
その居場所を中心に、地域に飛び出し様々な体験を行ったり挑戦の機会ともなった『親子の会』、親の心のゆとりを生む『親の会』、離島とのつながりづくりや地域のイベント参加など今年度の活動は多岐にわたりました。

また、その活動の実績が評価され、令和７年３月にも新たに独立行政法人福祉医療機構の助成金（令和６年度補正予算）にも採択され、令和７年４月より２年目の活動を引き続き行うことができる運びとなりました。

令和７年６月３０日現在、プロジェクトメンバーや利用者など、活動に関わるメンバーは約５０名、ボランティアや寄付などの形で活動を支えてくださっている方は約３０名、総勢１００名以上、６歳～７１歳までが様々な形で活動に関わってくださっています。

２）事業ごとの成果と課題

① 自由楽校　ゆめまある

【期間】　Ｒ６年７月～Ｒ７年６月(週４日開所)
【登録者数】　２４名
【延べ利用者数】１，４８０名
【活動】　制作、表現活動、外遊び、ゲーム、実験、
　　昼食提供、学習支援など

【アンケート結果】(※常時利用 11 家庭)

お子さんの満足度	９６．２％
保護者の満足度	８９．０％
スタッフの対応満足度	９６．２％
お子さんの前向きな変化	９０．８％

自由楽校ゆめまあるでは子ども１人ひとりの心理的安全性を守りながら心地よく共に過ごす場を提供しています。昨年度に引き続きさまざまな学習環境や体験活動のリソースも少しずつ充実させ、子どもたちの「やりたい」気持ちやフェーズに応じた支援・取り組みを行なっています。

開所から１年の間に利用者数は２４名に。川棚町内としては３９名いる不登校の小中学生のうち、１２名がゆめまあるに通っています。(他は波佐見町、東彼杵町、佐世保市などから来所)

川棚町に居場所ができたことで、これまで学校に居場所を見いだしづらく行き場を失っていた子どもたちが「ゆめまある」を通じて人や地域社会とつながることができ、親子ともに前向きになれたという感謝の声を利用するほとんどのご家庭からいただいています。

■自由楽校 ゆめまある利用実績

開所月	開所日数	利用者数(延べ)
Ｒ６年７月	１６日	１１０名
Ｒ６年８月	１３日	８８名
Ｒ６年９月	１６日	１４５名
Ｒ６年１０月	１６日	１３８名
Ｒ６年１１月	１４日	１４０名
Ｒ６年１２月	１４日	１２８名
Ｒ７年１月	１２日	１０７名
Ｒ７年２月	１０日	１０２名
Ｒ７年３月	１５日	１０７名
Ｒ７年４月	１５日	１３４名
Ｒ７年５月	１４日	１３７名
Ｒ７年６月	１６日	１４４名

延べ　１７１日／１，４８０名

看板制作

昼食提供

工作

外遊び

学習支援

■ゆめまあるの特別活動

実施日	内容	参加人数
Ｒ６年７月１０日	化学実験(アルソミトラの飛行実験)	７名
Ｒ６年９月１３日	マジックショー	１１名
Ｒ６年１１月２７日	体育館で遊ぼう	２１名
Ｒ７年１月２２日	海きららバックヤードツアー	２６名
Ｒ７年２月２６日	森きららバックヤードツアー	２４名
Ｒ７年５月１２日	大道芸人と遊ぼう	１４名
Ｒ７年６月　４日	化学実験(ニュートンコマ・ベンハムコマ作り)	１１名
Ｒ７年４月１１日	ＡＩ講座	１１名
Ｒ７年５月１６日	ＡＩ講座	１０名
Ｒ７年６月１３日	ゆめまある一周年パーティー	２１名
Ｒ７年６月２０日	ＡＩ講座	９名

※延べ１６５名

海きらら

森きらら

アルソミトラの実験

体育館で遊ぼう

ベンハムコマ実験

■参考資料

※令和７年４月より利用料に加え団体への活動協力金をいただいています。
（入会金年 4,000 円／常時利用月 3,000 円／スポット利用月 500 円の加算）
※令和７年５月より開所曜日が月・火・水・金に変更となりました。

② 親子の会

【期間】　Ｒ６年７月～Ｒ７年６月(月１回)
【対象者】利用者２４名とその家族
【延べ参加者数】２７４名
【活動】　親子での体験活動(内容は下記参照)

【成果と課題】
家族以外の他人との接点を持つ機会が少ない不登校の子どもたちに対して、他者とのコミュニケーション機会や地域社会との接点を創出しつつ、さまざまなことに興味を持つきっかけづくりの一環として、月に一度イベント形式で実施しています。
今年度はクリスマス会や凧あげ、焚き火やお花見、いちご狩りといった季節行事のほか、遠足、SUP、焚火や塩づくりなど地域の資源を活かした活動を行ないました。
親子の会には母親だけでなく父親や兄弟児の参加も多く、毎回とても賑わいのあるイベントとなっています。また、ゆめまあるの安心できる仲間との助け合いによって少しチャレンジ要素のある内容にも取り組めるようになってきました。

実施日	内容	参加人数
Ｒ６年７月２１日	川遊びと花火	２８名
Ｒ６年８月１７日	SUP 体験	１９名
Ｒ６年９月２９日	そうめん流しと川遊び	３２名
Ｒ６年１０月２０日	移動式遊び場・竹ぼっくり作り	１９名
Ｒ６年１１月１７日	ＢＢＱ	３２名
Ｒ６年１２月１５日	クリスマス会	２９名
Ｒ７年１月１９日	凧制作・凧あげ	１３名
Ｒ７年２月　６日	焚火・薪割り・火つけ体験	２１名
Ｒ７年３月３０日	お花見	２３名
Ｒ７年４月２７日	性といのちのお話会・フルーツポンチ作り	２０名
Ｒ７年５月２５日	海底湧水でお塩作り	２０名
Ｒ７年６月２９日	ポップコーン作りと映画観賞会	１８名

※延べ２７４名

竹ぼっくり作り

クリスマス会

薪割り

③ 親の会

【期間】　Ｒ６年７月～Ｒ７年６月(月１回)
【登録者数】１９名
【延べ参加者数】８９名
【活動】　親のための茶話会･相談会(12 回)、内講座(3 回)、『親の会便り』発行(3 回)

【成果と課題】
前年度から行っていた親のための茶話会・相談会に、助成金の活用により下記の新たな取り組みができました。
(１)講師を招いての講座を開催(作業療法士/通信制高校サポート校講師/不登校アドバイザー)
→親の不安に寄り添った専門的な知識が得られ、子ども達への対応に変化が見られました。
(２)親の会便りを発行し、まだ繋がれていない当事者家庭や町内７つの学校に配布。
→親の会の周知、関係機関との連携のためのきっかけになりました。親の会の取り組みやリアルな親の声が知れてとても勉強になるという教員からの声がありました。次年度は親の会と教員の座談会の開催にも繋げ、課題の共有にも取り組みたいと考えています。

実施日	内容	参加人数
Ｒ６年7月２１日	読書会	４名
Ｒ６年8月２６日	カラーセラピー(ボラ：ハナサクハルさん)	６名
Ｒ６年9月　８日	茶話会	９名
Ｒ６年１０月２０日	茶話会『マズローの６段階説勉強会』	７名
Ｒ６年１１月１７日	茶話会『子どもの権利条約勉強会』	８名
Ｒ６年１２月１４日	講座『子どもの発達や特性勉強会(講師：ホープ長谷川さん・川端さん)』	８名
Ｒ７年1月１９日	茶話会・凧づくり	６名
Ｒ７年2月１１日	講座『進路進学の選択肢勉強会(講師：schoot 内海さん)』	１０名
Ｒ７年3月９日	講座『不登校理解(講師：千恵子さん)』	１０名
Ｒ７年4月２７日	茶話会	６名
Ｒ７年5月１４日	茶話会	７名
Ｒ７年6月２１日	講座『東日本大震災の体験と居場所(講師：佐々木さん)』	１５名

※延べ９６名

茶話会

講座

④ 他団体とのコラボ企画

実施日	内容	コラボ団体	参加人数
Ｒ６年２月　２日	寿司職人体験	フリースクール クレイン・ハーバー	９名
Ｒ６年８月　４日	ビーチクリーン	Kujaku Peace	１０名
Ｒ７年３月２６日	EarthDay キャラクター制作	Kujaku Peace	１１名
Ｒ７年５月３０日	ビーチクリーン	Kujaku Peace	１名

※延べ３１名

ビーチクリーン

キャラクター制作

⑤ 応援 BOX と離島支援

【応援 BOX による支援数】12 家庭(川棚町近隣地域×3、五島市×2、新上五島町×7)

【成果と課題】

支援の届きにくい郡部と離島をオンラインで繋げ支援の輪を広げるため、今年度は五島への現地調査を行ない、不登校家庭の方が支援先につながるきっかけとして『不登校･行き渋り家庭応援 BOX』を送付しました。不登校や物価高騰などの複合的な不安や孤独を感じているご家庭から「大変有難かった」というメッセージやお手紙をいただき、新たな繋がりをつくることができました。

選択肢の少ない地域同士、互いの持つリソースを活かした支え合いに発展するよう、次年度も引き続きオンラインでの情報共有や親の会等の連携を進めていく予定です。

応援BOXによる繋がりづくり

五島の支援者さんたちと

⑥ リソース作り

ホームページリニューアル　活動紹介動画作成　リーフレット増刷など

ホームページ　　活動紹介動画

⑦ PR活動

今年度も地域のイベント等にコラボさせていただき、ゆめまあるのPR活動や子どもたちのチャレンジショップを行いました。

キッズマルシェは希望する子どもたちが自ら作った作品を販売するため、何をつくるか、コストと売上の計算、ディスプレイなど様々なことに思考を巡らせ、個々に良い経験となりました。

実施日	イベント名	内容	参加メンバー	体験人数
Ｒ６年８月　２日	かわたな夏まつり	キッズコーナー キッズマルシェ	１０名	１８３名
Ｒ７年４月１９日	EarthDayinかわたな	キッズマルシェ	２５名	
Ｒ７年４月２０日	EarthDayinかわたな	キッズマルシェ ワークショップ	１４名	

夏まつりキッズコーナー

EarthDay　キッズマルシェ

⑧ ドコデモこども食堂

一般社団法人明日へのチカラが行なう「ドコデモこども食堂」の提携団体として、川棚町と近隣地域の飲食店（５店舗）との連携を図り、必要なご家庭に飲食チケットの配布を行なっています。

不登校・ひとり親・貧困家庭等の支援の一環として、食事づくりの負担軽減や親子のコミュニケーション機会の創出にも貢献しています。

３）助成金について

■独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 令和５年度補正予算

結果	助成期間	事業名	助成額
採択	Ｒ６年４月～ Ｒ７年３月	どんな子にも、安心の居場所と豊かな育ちの環境をつくる事業	6,893,000 円

■２０２４年度ララ元気ねっと　地域活動補助金　（※R６年度、親子の会にのみ活用）

結果	助成期間	事業名	助成額
採択	Ｒ６年４月～ Ｒ７年３月	不登校、ひきこもり、貧困、ヤングケアラーなど社会問題を抱える子どもと親の居場所づくり事業	24,000 円

■独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 令和６年度補正予算

結果	助成期間	事業名	助成額
採択	Ｒ７年４月～ Ｒ８年３月	子どもたちの食と学びの保障、継続的支援基盤づくり事業	6,999,000 円

■2025 年度日本郵政年賀寄付金助成金

結果	助成期間	事業名	助成額
採択 (辞退)	Ｒ７年４月～ Ｒ８年３月	居場所で『安心』の関係性を育み、地域で『挑戦』できる環境をつくる事業	~~4,750,000 円~~

※独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 令和６年度補正予算が採択されたため辞退

４）講演活動について

開催日	イベント名	場所	内容
Ｒ６年８月２４日	『未来の教育』を考える講演会	南島原市	なお／講演・パネリスト
Ｒ７年２月　１日	『未来の教育』を考える講演会	川棚町	なお／講演・パネリスト
Ｒ７年２月２２日	第４回五島子どもサミット	五島市	なお／パネリスト
Ｒ７年６月１４日	第１８回子どもサミット	佐世保市	なお／パネリスト
Ｒ７年６月１５日	第９回長崎県のつどい	佐世保市	なお／ファシリテーター

『未来の教育』を考える講演会

子どもサミット

５）メディア掲載について

掲載日	メディア名	内容
Ｒ６年７月　１日	広報かわたな	今月のスポットライトにて居場所紹介
Ｒ６年１０月３１日	ＮＨＫ長崎	フリースクール事例として紹介
Ｒ７年２月１５日	長崎新聞	未来の教育を考える講演会
Ｒ７年２月	長崎県子どもの居場所づくり事例集 2024	ゆめまある紹介
Ｒ７年６月１４日	テレビ佐世保	子どもサミット

内容はホームページに掲載しています。

５）会員・利用者数

正会員　　：　１０人　（１０口）
賛助会員　　：　３０　人　（４０口）
企業会員　　：　４社　（６口）
親の会会員　：　１２人
（会員の入会時期については、一般的な年度と合わせるため、4 月～6 月入会分は次年度に含む）

６）視察

ゆめまあるへの視察件数　１７件
視察人数　２９名

居場所を運営している方、したい方、行政や民生委員など多くの方が視察に来て下さいました。

７）利用者の声

【年度末アンケートより】

（子どもの変化）
・少しずつ精神面で安定が見られた
・意欲的に通いたい場所ができた
・学習意欲がわいた
・たくさんの友達ができ、自己肯定感も上がった
・自己否定をしなくなった

（保護者の変化）
・気持ちが安定し眠れるようになった
・平日の仕事が再開できた
・家族以外との繋がりができて安心した
・子どもにとっての最善を考えられるようになった
・食事提供により栄養面・金銭面での負担感が減った

【お便りより】

別紙参照

７）事業継続に向けて

子どもの育ちや学びの場の保障は、必要性が身にしみながらも、私たちの力だけでは解決できる問題ではありません。この活動を持続可能にしていくためには、地域や行政、教育機関との協力が不可欠です。

次年度以降もみなさまのお力をお借りしながら、共に生きづらさを抱える子どもたちに優しい人と場所と環境豊かな地域を目指していきたいと思っています。

今年度もかわたな夢キッズの事業にお力添えいただきました皆様に心からのお礼を申し上げますとともに、Ｒ６年度の活動報告と代えさせてせていただきます。